

平成30年度介護事業所における要介護度改善促進事業 表彰チーム一覧

○表彰チーム 8チーム（応募 37 チーム）

区分	事業所 チーム名	チーム リーダー	所属法人	表彰理由
入所 施設	足羽利生苑(特養) 「地域密着型介護力 向上チーム」	室田 紀代	(福)足羽福社会 理事長 高村 昌裕	排泄の自立や歩行の改善を目指した個別ケ アを徹底 し、買い物外出等、地域に出向く生活 ケアに結び付けている。
	藤島園(特養) 「藤島園特養」	立平 恵梨	(福)藤島会 理事長 屋敷 大作	施設で多い誤嚥性肺炎、尿路感染、転倒に よる骨折について、多職種でその対策と予防を 検討する委員会を立ち上げ 、業務改善を通して 疾病・事故の減少を図った。
	大野和光園 和らぎの里(特養) 「和らぎの里かえで」	水上 直美	(福)大野和光園 理事長 砂子 三郎	失語症のある認知症の利用者に対して、感 情評価項目の活用や本人の視点に立った丁寧 な介護を実践 することにより、精神面の安定や 身体面の改善につなげることができた。
	第三光が丘ハウス (特養) 「梅の木ユニット」	寺岡 智子	(福)光道園 理事長 藤本 武司	家族参加型の施設行事や農作業、調理、グ ループ活動などを通して、利用者の生活体験を 活かす活動 により、身体状態の改善に加え、精 神面の活性化を図った。
通所 施設	プライムハイツ春江 デイサービスセンター (認知症デイ) 「プライムハイツ春江」	永岡 寿子	(福)双和会 理事長 藤井 康広	職員の親しみのある手作りの道具による家 事作業訓練や、クイズ、計算問題等の学習療 法を活用 している。
	県民せいきょう 羽水きらめき(デイ) 「勇往邁進」	宮下 貴文	福井県民生活協同組合 代表 竹生 正人	利用者の希望の実現を一緒に考え、計画を 実行するプロジェクトを立ち上げ、多職種でそ の実現に向けた取組を実施 している。
	いちごデイセンター みのり(デイ) 「チームいちごみのり」	杉本 吏	(医)健康会 理事長 嶋田 修美	利用者や家族の意見を取り入れた定期的な もの作り教室を開催する とともに、その中で自 立度の高い方を中心に、他の利用者の作品の 作業工程を教える手法を取り入れている。
	リハビリスタジオ なるぞの森(デイ) 「MORI食プロジェクト」	谷川 真澄	(有)なるぞ 代表 谷川 真澄	食事場面におけるセルフ配膳を通して利用 者の自主性、主体性を引き出し ている。厨房ス タッフ、介護スタッフ、機能訓練指導員等が連 携し、一体となって、利用者の自立支援に取り 組んだ。